

行雲流水

No.205 令和4年4月20日発行

「おはようボード」に元気をもらう

校長 寒河江 正人

令和4年度の新学期は、4月6日から数えて本日で**15日目**。
毎朝、「おはようボード」から出迎えてもらって、一日がスタートする。

「さて、どんなネタで書いてくれたのかな？」
立ち止まって、いつも楽しませてもらっている。
毎日ありがとう。

前日のうちに「おはようボード作成チーム」の生徒諸君が工夫を凝らしてくれている。
そのネタの工夫に感心する。

いろんな国の「おはようのあいさつ言葉」。
その日の行事や生活の様子などを意識した呼びかけ。
「名言のコーナー」もいい。元氣や勇氣につながる。
給食の献立も「お昼の時間」が楽しみになる。

実は、本校に來訪するお客さまも「おはようボード」を読んでいる。

「校長先生、これは生徒さんたちが書いているんですか？」
「これ、毎日ですか？」
「発想がおもしろいですねえ。」などなど。
ついつい立ち止まって読んでしまうらしい。

これも、「明るく楽しい前向きな学校生活」を創り上げる「生徒会の自治活動の一つ」だ。
「でっかい学校行事」をしたり、「派手なイベント」をすることにこだわらなくても、
こういう「地道な毎日の活動の積み重ね」の一つひとつが「確かな学校生活」を支える。

こういう日常活動を日々欠かさず継続して取り組む生徒たちがいる学校は、素晴らしい。
「立ち止まって楽しむ心の余裕」「書き手への感謝・敬意」をもつ生徒諸君は、素晴らしい。

私たちの「神町中学校」は、そういう「お互いの信頼関係」を大切にしている学校だ。